

学校の教育目標

かしこく ゆたかに たくましく 未来を拓く東の子

目指す学校像

今日が楽しい、明日も行くのが待ち遠しい学校

学校の課題

- よく考え、自ら行動できる主体性の育成
- 苦難に負けず、最後までやり抜く強い心の育成と体力の向上
- 基礎的・基本的な知識及び技能の定着と思考力・判断力・表現力の育成
- 特別支援教育の充実
- 家庭・地域との連携強化

目指す子どもの姿

《合言葉》

自分から

最後まで

「わたしは、〇〇(生き方)のために□□をがんばっています。」と、自分の夢や目標の実現に向かって、いつもよく考えて自分から行動する子

「ありがとう」「ごめんなさい」「ただいま」「おかえり」と、素直に気持ちが表現できるとともに、「ありがとう」と言ってもらえるように、相手を思いやり、みんなや自分のために最後までやり抜く子

羽島郡二町の方針

様々なかわりの中で学び、社会の一員として貢献できる社会人の育成

- ◇家庭・社会の期待に応え、夢と自信をもち、可能性に挑戦するために必要な力の育成
- ◇個性や能力を発揮して活躍し学び続ける、活力と連帯感のある人づくり

指導の重点

研究主題

仲間とともに主体的に見方・考え方を働かせ、深い学びに向かう児童の育成

(知) かしこく

■「分かった・できた」の実感と確実に力が付く授業の創造

- ・「マニフェスト4」の確実な実践
- ・5ポイントと3つの見届けを大切にしたい授業実践
- ・ペアやグループで考えを交流する場の確保と「深い学び」に向かう指導の工夫
- ・ICTの活用と情報活用能力の育成
- ・1人1台端末の教科指導における活用
- ・プログラミング教育の実践

■発達の段階に応じた学び(学び方)を身に付けさせる

- ・「聴く・話す・読む・書く」など言語活動を充実させる指導と東小ネオスタンダード(HNS)の徹底
- ・幼保小の円滑な接続を図るスタートカリキュラムの開発
- ・総合的な学習の時間の「東小プログラム」を軸とした生き方指導のさらなる充実

(情・意) ゆたかに

■子供に「居場所」と子供同士の「絆」がある学級づくり

- ・東小きずな宣言を基盤にいじめを許さない望ましい人間関係の構築と自己指導能力の育成
- ・自己肯定感と自己有用感をもたせるための活躍の場を位置付け、役割をやりきらせ、ほめて自信をもたせる指導の継続
- ・よく考え、自ら行動できる主体性の育成と自分で考える習慣をつくる指導、話し合っ問題点を解決する指導の充実

■道徳的実践力の育成

- ・自分との対話を充実し、心をあたたくする対話を大切にする「深く考え 議論する道徳の授業の実践」

■児童会活動の充実と創造

- ・「4つの宝」のあいさつ・だまって掃除・スマイル活動・ボランティアの値打ちがわかる日常活動の充実

(体) たくましく

■運動の日常化と体力の向上

- ・年間を通して確実に体力が向上する体力づくり(元気タイム縄跳び等)の実践
- ・運動量を確保した楽しい体育授業の充実

■健康管理意識の向上

- ・自己健康管理ができる指導の充実(感染症対策の徹底)
- ・「基本的生活習慣」を身に付け、「食育」「眠育」を大切にしたい学級指導の充実
- ・がん教育の充実

■危機管理意識の向上

- ・廊下歩行、遊具使用等の安全指導の徹底
- ・登下校、放課後、休日等の交通ルールや公共施設等でのマナー遵守
- ・引き渡し訓練、不審者対応訓練の実施
- ・情報モラルの徹底等、家庭と連携した安全指導の充実
- ・性に関する指導内容、指導方法の改善

《東小》きずな宣言 わたしたちは、だれもが笑顔いっぱい、あたたか言葉いっぱい、人を大切にする学校をめざします。
ひとりぼっちになるいじめはしませんさせません がんばる仲間と自分を大切にします しあわせにするあたたか言葉を使います

4つの宝：あいさつ・だまって掃除・ボランティア・スマイル活動

■「一致団結、きりり輝く・チーム東小」

徹して子供に寄り添う

教師が学び児童が伸びる東小に！

熱意をもって事に当たる

誠意をもって人に接する

創意をもって指導に臨む

■保護者や地域に愛され、信頼される学校

- ・子供のよさの積極的な情報発信(学校ホームページ、学校だより、学年・学級だより、電話など)
- ・学校運営協議会(CS)を核とした地域人材の積極的、計画的な活用
- ・関係諸機関との日常的な連携強化
- ・学校評価(PDCA)結果の積極的公開と改善の確実な実施